

	市 町 名	八幡浜市		
	公民館名	白浜地区公民館		
		地区館		
	連絡先 (Tel)	0894-24-5640		
ホームページアドレス				
事業分野	H 地域防災	事業名	防災教室	
趣旨・目的	家庭教育学級として、防災について親子で様々な場面を想定して考える。 避難時、避難後で必要なことを考える。			
対 象	小学生・一般地域住民・公民館	参加人数	50人	
〈事業内容〉 (1) 講師 的場 防災士 (2) 日時 令和3年10月14日(木) 9時30分から (3) 概要		 <p style="text-align: right;">【グループ発表】</p> <p>白浜地区公民館で、的場防災士を講師として、防災教室が開催されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グループに分かれて、避難袋に何を入れるかロールプレイングしました。 マスク・着替え・ティッシュ・タオル等の衛生用品、アルミ製保温シート・雨具・折り畳みスリッパ等の便利品、スマホ・ラジオ・モバイルバッテリー等の情報収集用品、現金・健康保険証等の貴重品、薬、数日分の食料など。 ○ グループの話合いの後、全体で発表し、検討を加えることで、多角的に避難に必要なものを考えていきました。年齢によって準備するものが違うことを確認し、各家庭で足りない物に気付くことができました。 ○ 講師による評価 <ul style="list-style-type: none"> ・ 靴や笛・軍手等、身に付けて避難する物は、避難袋とは別にしておくこと。 ・ 災害は、自宅で起きるとは限らない。車の中にも最低限の用意が必要。 		
(4) 感想・考察 2016年には、発生確率0.1%とされていた熊本県において大規模な地震災害が発生しました。私たちが直面している南海トラフ地震の発生確率は70%とお聞きしており、その発生確率の高さに驚愕します。 備えあれば憂いなしと言います。災害が起きないことを願いながら、まずは我が家の避難袋を確認しておきたいと思えます。		 <p style="text-align: center;">【ロールプレイングで考えよう】</p>		